

令和元年度 兵庫県校友会定時総会

<定時総会>

令和元年5月11日（土）午後5時から、神戸市にある「神仙閣」において令和元年度兵庫県校友会定時総会が開催された。郷田祥二県校友会副会長（79回）が開会の挨拶を述べた後、総会に先立ち、平成30年7月22日ご逝去された原田耕作会員（25回）に黙祷が捧げられた。

鹿間敏久県校友会会長（68回）の挨拶の後、来賓の近藤勝洪校友会本部会長からご挨拶をいただいた。

矢野岳人議長（62回）の進行で各担当理事による事業報告の後、議事に入り、埴佳倫県校友会理事（77回）から第1号議案・平成30年度一般会計決算の承認を求める件、石上寛県校友会理事（78回）から第2号議案・平成30年度共済会計決算の承認を求める件が上程され、いずれも可決承認された。続いて竹内英資県校友会監事（68回）から監査報告が

なされた。百瀬深志県校友会専務理事（71回）から第3号議案・令和元年度事業計画の承認を求める件、埴理事から第4号議案・令和元年度一般会計予算の承認を求める件が上程され、いずれも満場一致で可決承認された。

引き続き百瀬専務理事より第5号議案・役員改選（会長・監事）に関する件が上程され、満場一致で可決承認された。最後に堀晋作県校友会副会長（70回）が閉会の辞を述べ総会は無事終了した。

<時局講演>

総会終了後、近藤会長が「国家試験の合格率について歯科医師は65%を切っている。歯科衛生士は合格率96%を超えてはいるが志願者数は減少してきている。問題は歯科技工士で合格者数が800人を割っている。これは我々歯科医師にとっても重要な問題である。今後、必ず歯科医師不足時代がやってくる。先生方のご子弟も含め、ご親族で若い優秀な学生がいればぜひ本学を受験していただきたい」と講演された。

<懇親会>

時局講演の後、記念撮影に続き慣例の懇親会が長尾恭宏県校友会理事（81回）の司会で開宴した。校歌斉唱の後、鹿間会長の挨拶があり、柏木善平会員（43回）の乾杯の発声で幕を開けた。祝宴に移ると各テーブルでは歓談の輪が広がり、美味しいお酒と料理を楽しみながら、会場内は昔話や世間話に大いに盛り上がり、有方壯介県校友会理事（78回）が閉会の辞を述べて懇親会は大盛況の内に幕を閉じた。

（石上功次郎・87回記）



令和元年度兵庫県校友会定時総会 令和元年5月11日 於 神戸・神仙閣